

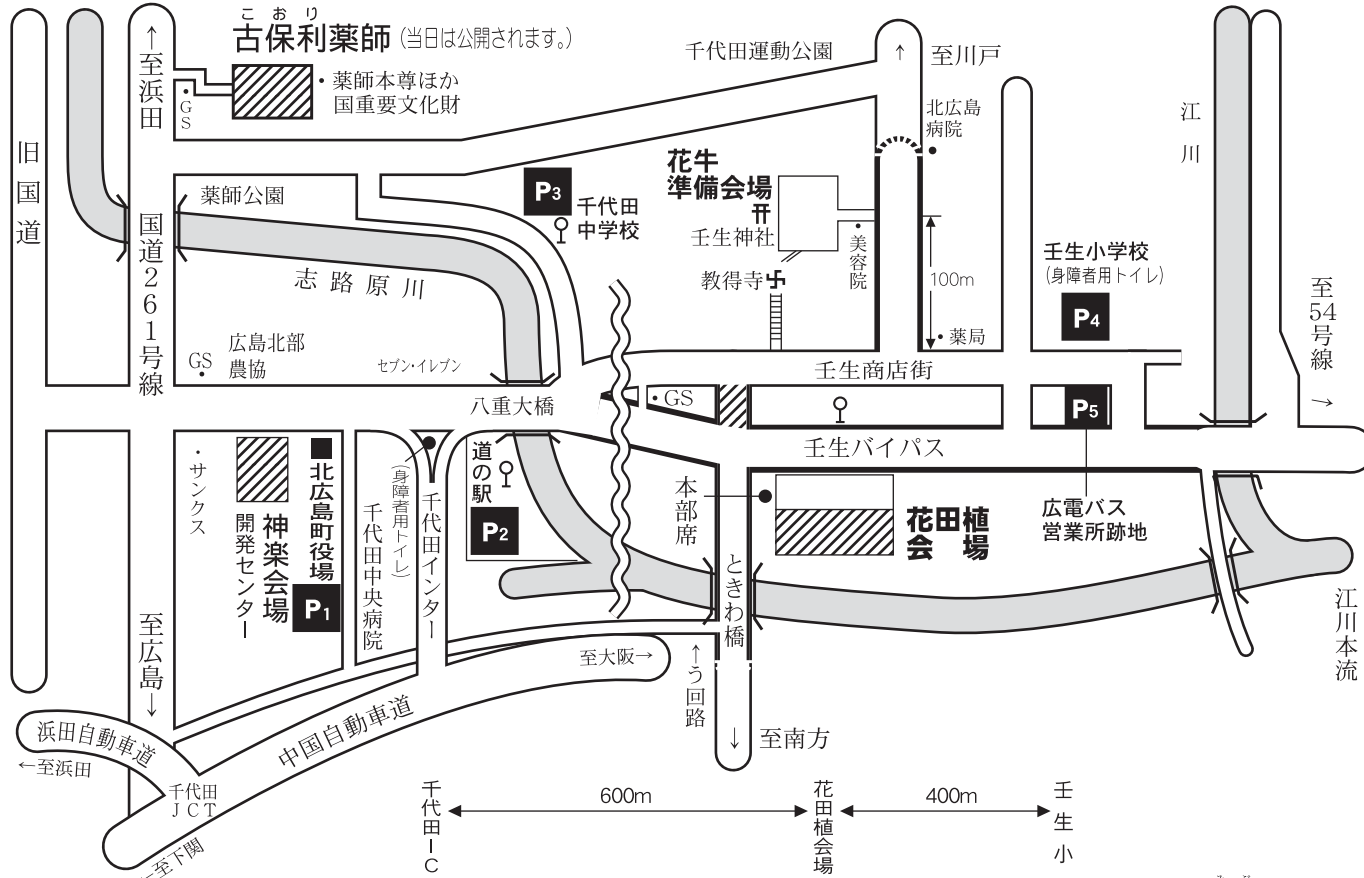
壬生の花田植と無形文化財合同まつり案内図

*当日太線の範囲は駐車禁止

- P₁ 役場裏駐車場
 - P₂ 舞ロードIC千代田広場
 - P₃ 千代田中学校
 - P₄ 壬生小学校
 - P₅ 広電バス営業所跡地
- (各駐車場とも無料)

※各駐車場と花田植会場を結ぶ無料シャトルバスが運行されます。

♀ …… バス停



国の重要無形民俗文化財指定 「壬生の花田植」の由来

この地方には古くから囃し田という行事があった。これは組で田植をする時、ささらを持ったさんばいの指揮で、太太鼓や小太鼓、笛や手打鉦ではやし、早乙女は田植唄

を歌いながら田を植えた。これは田の神を祭って稲作の無病息災と、豊穰を願う農耕儀礼であるが、同時に苦しい田植仕事を楽しくしようとする方法でもあった。ところが大地主等の中には、自家の田植には沢山な人々を集めて盛大に囃田をやるものもいた。これに参加する牛には、豪華な花鞍を更に造花で飾り、早乙女等は今日を晴れと着飾った。その様子が余りにも美しいので花田植と言ったらしい。

ところで壬生は、高峰城と共に古くから由緒のある町で、江戸時代からこの花田植が盛大に行われていたが、それが明治中期頃から行われなくなった。そこでこれを永久に保存传承しようと、当時の人々や町の商家(現壬生商工会)が主催して毎年実施する様になり今日に及んでいる。昭和中期頃までは芸北地方一帯から愛好家が参加し、飾牛も数十頭、楽人(胴)や早乙女等二百余名という盛大さで、伝統ある三反大町に展

開される様は四方の山の新緑と相映じ、絢爛豪華初夏の一代絵巻物であった。

川東、壬生両田楽団からなる「壬生の花田植」は、昭和51年、国の重要無形民俗文化財として指定をうけ、このたびユネスコに世界無形文化遺産として推薦されることが決定しました。

壬生の花田植保存会

日本一の田植まつり

花田植と無形文化財合同まつり

● 2010年6月6日(日) ●

《開発センター》(全席自由席)

9:00開場 10:00開演

- 山王神楽団 北広島町(千代田) 紅葉狩
- 琴庄神楽団 北広島町(豊平) 大江山
- 西宗神楽団 北広島町(豊平) 天の岩戸
- 山王神楽団 北広島町(千代田) 八岐大蛇

入場料 入場料 当日 1,500円(前売 1,200円)
※小・中学生は500円(当日のみ)小学生未満は無料
(月一の舞い神楽実行委員会)

終了予定時刻 13:00で花田植をご覧ください

《壬生商店街》

● 道行き 11:30~

11:30~ 壬生子ども田楽
金管バンド
(壬生小学校出発)

12:20~ 本地花笠おどり
(壬生小学校出発)

12:40~ 飾り牛
(壬生神社出発)

13:00~ 壬生田楽団 (高峰会館出発)

13:00~ 川東田楽団 (壬生小学校出発)

● 花田植公開 14:00~
時間に多少変動あり